

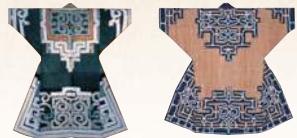


ゆうごとみゅさ。



なるほどアイヌ文化エッセイ

ソンコ de ソンコ



アイヌ文化のことをもっともっと話したい!
本田優子と村木美幸の二人が、
その魅力を交代で執筆する
ソンコ(=お便り)形式のエッセイです。



Vol.76

アイヌ語地名散歩 —ペツ／ナイ編—

今月のテーマ
村木美幸
(アイヌ民族
文化財団理事)

北海道の市町村名の
約八割がアイヌ語に由
来することは良く知ら
れていますよね。アイヌ語地名は山や川の
名前など、地形の特徴や目印となるよう
に付けられたものが多く、中でも登別や
士別の「別」、稚内や岩内の「内」のように、
ペツやナイの付く地名がダントツに多いん
です。ペツもナイも川という意味で、サケ
が遡上する川、交通路としての川など、川
はかつてのアイヌの暮らしと切り離すこ
との出来ない大切な存在でしたのでその
名が多いのはわかりますよね。

石狩川は、大雪山系の石狩岳を源流と
して層雲峠を通り、上川盆地から石狩平
野に流れ、石狩湾へ注ぎます。その間、層
雲峠近くにはソーウンペツ(滝ある川)が
流れている地名を聞くだけで滝があるこ
とがわかりますし、旭川近くの春志内(ハ
ル・ウシ・ナイ)食べもの多い所の川)は、ア
イヌが食用としたギョウジャニンニクやオ
オウバユリが群生している目印となりま
す。雨竜川沿いの秩父別(チブ・ウン・ペツ)
舟が通る川)は、交通路として重要な川で

イラスト／莊田悠人



次回のテーマは
'アユシニーチフ(ハリギリの丸木舟)'
本田優子(札幌大学教授)
が担当します。

意味があつつけられたアイヌ語地名で
も、地形の変化や暮らしの変化などに伴
い、今では本来の意味を確認することが
難しくなっています。その意味でもアイヌ
語地名は、アイヌの自然に対する考え方、
文化や歴史、言葉などの情報を示す文化
遺産といえますよね。



- 本田優子(ほんだゆうこ):金沢市生まれ。札幌大学教授。北大卒業後11年間平取町二風谷に住み、アイヌ語講師を務める。
- 村木美幸(むらきみゆき):白老町生まれ。アイヌ民族文化財団理事。先住民族アイヌの一員として文化継承活動に努める。
- 莊田悠人(しょうだゆうと):平取町二風谷生まれ。漫画家兼イラストレーター。幼い頃のアイヌ文化が原風景。東京在住。



イランカラープラ
'こんにちは'からはじめよう'